

別紙 2 - 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 9 月 5 日 (16 : 00~16 : 30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	高橋、西岡、釜口、山本、布村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	今回が初回にて計画なし
前回の改善計画に対する取組み結果	今回が初回にて取り組みなし

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	4	1	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	8	0	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	6	1	1	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	7	4	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規の初回利用時には、24 時間 365 日運営している事業所のため、職員全員が同じタイミングで情報共有することが困難である。そのため、毎日の朝礼、個人ノートの活用、全体ノートの活用、夕礼での報告を行っている。また、毎月 1 回開催している職員会議では、利用者の状況確認や次月の予定など職員間での情報共有に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
緊急での受け入れなど、利用前の情報収集が不十分であり、本人の状態、家族関係、リスクなど利用してから得る情報が多い場合がある。その為、利用しないと分からないこともたくさんあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用前の実態調査(身体状況、認知症状の程度)※利用前に情報を把握し、介護現場への伝達を行う。病院、居宅、老人保健施設との情報を得て、地域との連携に努める。 小規模多機能として、緊急性のある突発的な対応(情報不十分)での受け入れ体制研修を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 5 日 (16 : 00～16 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 高橋、西岡、釜口、山本、布村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
今回は初回にて計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今回は初回にて取り組みなし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	11	2	2	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	6	2	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	5	7	1	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7	7	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
希望の食事提供や個別リハビリの実施など、利用サービスの変更など柔軟に対応している。また、記録や報告連絡相談などタイムリーに対応し、家族向けの連絡ノートの活用や、オアシス便りなど機関紙を配布することで、家族との関わりについて密に行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の長期的な目標設定ができておらず、現状のサービス内容のみを、職員が共有するに留まっている。そのため、利用ニーズの把握がきちんとできていない。また、在宅生活を維持できるような生活リハビリの提供が不十分である。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
個別介護計画書の内容を、全職員で情報共有する。 個別リハビリの充実を図り、利用者満足度向上と職員教育の徹底を図る。 (記録、表、書式作成、ニーズ見極め、職員教育)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 5 日 (16:00~16:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 高橋、西岡、釜口、山本、布村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
今回は初回にて計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今回は初回にて取り組みなし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	9	3	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	7	1	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	9	5	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	6	1	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	9	2	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所内での介護サービスは提供できており、食事、水分摂取、排泄、入浴などサービス利用状況を把握し、記録から職員間で情報共有もできている。また、職員の声かけは随時実施できており、体調不良などの特記事項も把握できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ミーティングなど活発にできておらず、事業所以外の自宅などでの過ごし方が不明な場合が多い。また、自立に向けての支援が不十分であり、どうすれば自宅での排泄や入浴など行えるかのカンファレンスなど開催できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
朝礼や夕礼での伝達を徹底する。 連絡ノートを活用にて、職員全員の情報共有に努める。 職員会議での職員全員の活発な意見交換を実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 6 日 (16:00~16:40)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 高橋、太田、駒谷、布村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
今回の初回にて計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今回の初回にて取り組みなし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	7	6	1	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	3	7	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	4	9	1	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	8	4	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
近隣住民、家族、利用者友人など多数の方の情報を共有できている。また、自宅周辺の地域行事への参加や、送迎時に利用者宅近隣の住民に対して、オアシス職員も積極的に挨拶している。そのため、利用者宅周辺の住民もオアシスを理解されている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者が自宅で調理する機会もなく、一緒にスーパーなどで買物などできていない。弁当を職員が買いに行く程度で、自宅とオアシスの往復しかしていない利用者も多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者アンケートを実施して、利用ニーズを見極め利用者本意となるよう業務改善を行う。地域行事の情報や関わりを深めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 6 日 (16:00~16:40)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 高橋、太田、駒谷、布村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
今回が初回にて計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今回が初回にて取り組みなし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	9	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	7	3	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	6	1	1	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	7	1	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個々の介護サービスとしては、通い・泊まり・訪問などのニーズに対応できており、急な泊まり対応も受け入れができています。また、記録や申し送りなどから職員間での情報共有するよう努力している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
独居の方や家族の仕事の関係などで、自宅で過ごすよりも事業所での通い・宿泊が主となっている場合が多い。そのため、訪問サービスのニーズが乏しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
訪問サービスの拡充及び訪問サービスの体制づくりとして、職員のスキルアップや研修の実施。柔軟な利用形態および受け入れに向けて、利用者、家族との更なる信頼関係の構築に努める。毎日の関わりから、接遇・観察・記録・体調面など利用者の健康管理をサポートしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 8 日 (15:00~16:00)

6. 連携・協働

メンバー 山本、中田、釜口、太田、巖、駒谷、布村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
今回は初回にて計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今回は初回にて取り組みなし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	3	7	3	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	3	5	4	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	6	6	3	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	10	3	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
医療機関や福祉用具の業者とは連携できており、地域包括主催の研修など、職員向けや利用者及び家族向けの研修会に参加できている。また、地域のはなまち委員会との取り組みにて、1 階玄関の花壇を JA 尼崎支店職員と協力して、毎日、手入れや水やりなど実施している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域行事への参加があまりできておらず、情報としても少ない。また、日々の業務が優先されており、外部行事に参加できる人員配置もできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域行事の関わりや機会がないため、まずは情報収集に努める。 オアシスの事業紹介をすることで地域の認知度を高めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 8 日 (15:00~16:00)

7. 運営

メンバー 山本、中田、太田、釜口、巖、駒谷、布村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
今回は初回にて計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今回は初回にて取り組みなし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	5	9	1	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	7	2	1	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10	2	1	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	3	6	4	3	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事故報告、ヒヤリ報告、苦情報告など職員間で周知するとともに本部にもタイムリーに報告することで運営に反映できている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域からの意見収集など十分でなく、地域の拠点としての取り組みが不十分である。また、職員会議では全職員が参加することが困難であり、意見交換など職員からの意見や考えが十分くみ取れていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員会議の定期開催及び参加率の向上。 地域行事の情報収集及び参加できる人員配置。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 8 日 (15:00~16:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山本、中田、釜口、太田、巖、駒谷、布村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
今回は初回にて計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今回は初回にて取り組みなし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	7	5	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	6	3	15
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	5	4	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	8	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 新人の時は先輩職員からの実技指導として研修や、毎月の職員会議での研修に参加。また、事故予防の取り組みとして発生した事故など報告書にて周知徹底している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 外部研修への積極的な参加ができておらず、日常生活や勤務のなかで余裕がない。小規模の特徴である利用者 1 人 1 人へのニーズに対応するあまり、事業所全体のリスク管理が不十分となっている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 全職員が意識して取り組めるような目標設定。 事業所の特徴を明確にしていくことで、一体感を向上させていく。 リスク管理の徹底。
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 8 日 (15:00~16:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 山本、中田、釜口、太田、巖、駒谷、布村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
今回は初回にて計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	
今回は初回にて取り組みなし	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	8	0	0	16
②	虐待は行われていない	10	6	0	0	16
③	プライバシーが守られている	6	6	3	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	3	0	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	8	1	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待について、年間研修計画をたてて職員向けに実施している。また運営推進会議では、利用状況などの報告をイニシャルとして実名を伝えないことや、オアシス便りの写真掲載では、掲載についての本人や家族の意向を書面にて確認している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者本意とはどのようなことなのか、職員全員が理解できているかは不十分と感じる。職員の業務優先となっている場合もあるように感じている。また、このようなことを定期的なカンファレンス開催もできていない。職員間の報告連絡などが優先してしまい、利用者の共有スペースにて報告を行っている場合もあり、利用者のプライバシーが守られていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者、家族との更なる信頼関係構築。(アンケートの実施・オアシス便りの充実・通い連絡ノートの活用) 職員会議の定期開催による利用者カンファレンスにて、サービスの振り返りを実施。(サービスの質の向上)	